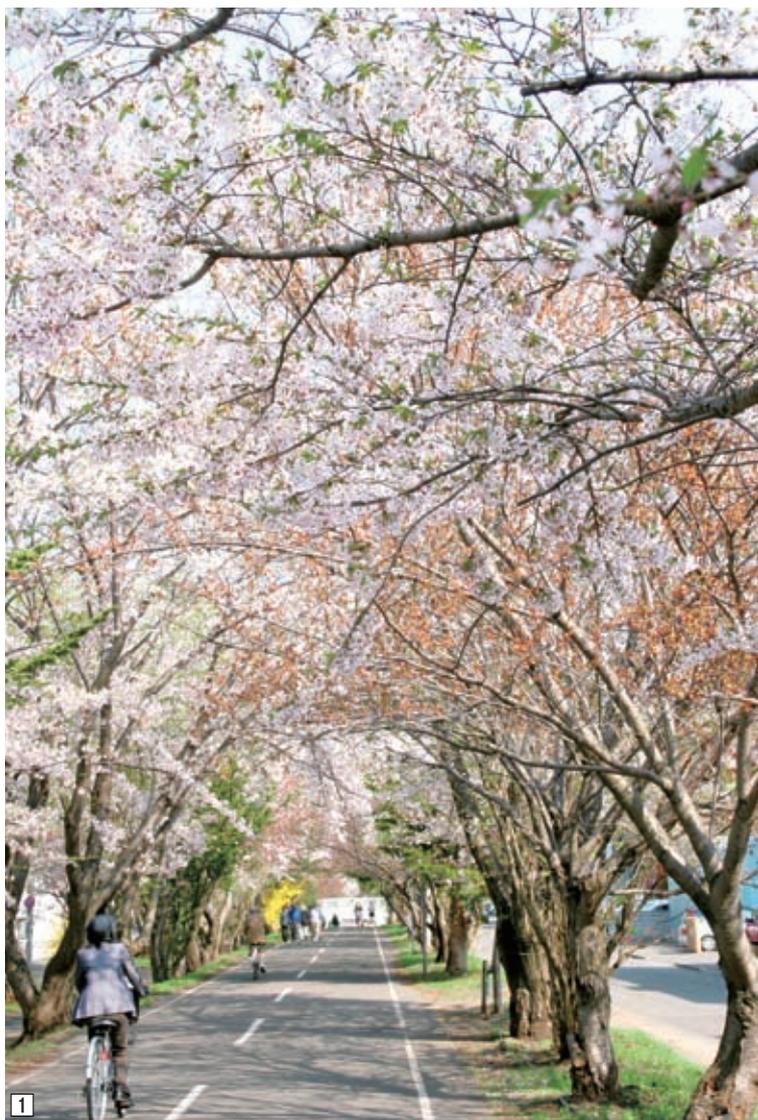


魅力発見!

白石サイクリングロードを行く

雪解けが待ち遠しい季節となってきました。もうすぐ訪れる春。外に出て、さわやかな風を満喫してみませんか。今月号は、白石サイクリングロードの魅力をご紹介します。



1 万生公園前の八重桜（4月下旬～5月上旬）。満開の桜を一目見ようと、多くの区民が訪れます。

区民に親しまれる サイクリングロード

白石サイクリングロードの正式名称は「道道札幌恵庭自転車道線」。現在、札幌コンベンションセンター（東札幌6条1丁目）から、厚別川に架かる虹の橋（南郷通21丁目南③）を渡って白石区を抜け、さらに、厚別区を通り、JR北広島駅まで続いています。

この道路は、昭和48年9月に廃止された旧国鉄千歳線跡地でしたが、白石区民の「市民の憩いの場にして欲しい」という強い要望により、翌年8月に、自転車・歩行者専用道路として生まれ変わりました。



2 環状通に架かる「環状夢の橋」。6月下旬から見ごろを迎える環状通沿いのバラが見下ろせます。3 厚別川に架かる「虹の橋」。七色の輪は虹をイメージしてデザインされました。

今では、サイクリングやジョギング、散歩などを楽しむ多くの人が行き交う、区民の憩いの場となっています。

サイクリングロードの魅力

白石サイクリングロードの魅力は、市街地にあるにもかかわらず、交差点がアンダーパス化され、自転車も歩行者も信号などで止まることなく安全・快適に通行できるところです。

このため、サイクリングやジョギングはもちろん、小さな子どもたちの遠足やマラソン大会などにも利用され、健康づくりやレクリエーションの場としても役立つています。